

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 23 日 (2006.3.23)

【公開番号】特開 2000-219841 (P2000-219841A)

【公開日】平成 12 年 8 月 8 日 (2000.8.8)

【出願番号】特願 平 11-21776

【国際特許分類】

**C 0 9 D 17/00 (2006.01)**

**C 0 9 D 11/00 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

【F I】

C 0 9 D 17/00

C 0 9 D 11/00

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも顔料およびアニオン性基含有有機高分子化合物を含有する水性顔料分散体であって、該アニオン性基含有有機高分子化合物として溶解パラメータの異なる 2 種以上のアニオン性基含有有機高分子化合物を用いることを特徴とする水性顔料分散体。

【請求項 2】 溶解パラメータの異なる 2 種以上のアニオン性基含有有機高分子化合物のいずれもが、少なくともアクリル酸およびメタクリル酸の炭素数 3 ~ 5 のアルキルエステルからなる群から選ばれる 1 以上の化合物を構成要素として含有するアニオン性基含有有機高分子化合物である請求項 1 記載の水性顔料分散体。

【請求項 3】 溶解パラメータの異なる 2 種以上のアニオン性基含有有機高分子化合物のいずれもが、少なくともアクリル酸およびメタクリル酸の炭素数 3 ~ 5 のアルキルエステルからなる群から選ばれる 1 以上の化合物とスチレンとを構成要素として含有するアニオン性基含有有機高分子化合物である請求項 1 記載の水性顔料分散体。

【請求項 4】 顔料がアニオン性基含有有機高分子化合物によって被覆されている請求項 1 ~ 3 記載の水性顔料分散体。

【請求項 5】 溶解パラメータの異なる 2 種以上のアニオン性基含有有機高分子化合物の溶解パラメータのいずれもが、8 . 0 ~ 11 . 0 である請求項 1 ~ 4 記載の水性顔料分散体。

【請求項 6】 溶解パラメータの異なる 2 種以上のアニオン性基含有有機高分子化合物の溶解パラメータの差がそれぞれ 0 . 3 ~ 3 . 0 である請求項 1 ~ 5 記載の水性顔料分散体。

【請求項 7】 溶解パラメータの最も小さいアニオン性基含有有機高分子化合物の溶解パラメータが 8 . 0 ~ 9 . 4 の範囲にあり、溶解性パラメータの最も大きいアニオン性基含有有機高分子化合物の溶解パラメータが 9 . 5 ~ 11 . 0 の範囲にある請求項 1 ~ 6 記載の水性顔料分散体。

【請求項 8】 請求項 1 ~ 7 記載の水性顔料分散体を含有することを特徴とする水性記録液。

